

1. 評価報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2450780032
法人名	医療法人 松徳会
事業所名	グループホーム カトレア
所在地 (電話番号)	松阪市山室町690番地の1 (電話) 0598-20-0182
評価機関名	三重県社会福祉協議会
所在地	津市桜橋2丁目131
訪問調査日	平成 20 年 12 月 12 日(金)

【情報提供票より】 (H20年10月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12 年 4 月 15 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 4人, 非常勤 6人, 常勤換算 8.9人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	54,000 円	その他の経費(月額)	16,000 円	
敷 金	有(円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000円			

(4) 利用者の概要(10 月 25 日現在)

利用者人数	9 名	男性	名	女性	9 名	
要介護1		名	要介護2		5 名	
要介護3		4 名	要介護4		名	
要介護5		名	要支援2		名	
年齢	平均	83 歳	最低	67 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	花の丘病院 富田歯科
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

松阪市で社会福祉事業を展開されている医療法人運営のグループホームである。旧松阪市郊外の山間の自然に囲まれた環境にある敷地には内科、リハビリテーション科病院、介護老人保健施設と付帯するデイケアサービス等居宅系介護事業所並びに系列の有料老人ホーム、デイサービス事業所等があり、特に、日常の健診や重度化した場合の対応等健康面や医療面で安心感のある事業所である。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>昨年の外部評価の結果は検討され、夜間災害想定訓練の実施、地域との係わりや市との連携等改善され改善計画書としてまとめている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価は項目をリストアップし、全職員で検討したものを最終的に管理者の意見を入れまとめられている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>会議は市職員、地域包括支援センター職員、民生委員、老人会長、隣接施設の在宅介護支援センター相談員や居宅介護支援事業所ケアマネ等職員及び利用者家族等を外部主メンバーとし、現況報告、調理レクリエーションの披露、特定課題並びに運営上の意見交換等行なわれている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>玄関にご意見箱を設置し、相談・苦情窓口も掲示されている。苦情は法人本部窓口と管理者が受け止めている。また、日々の相談等は管理者や職員が受けとめ、カンファレンスの場で話し合われている。只、外部苦情受付窓口として、重要事項説明書や玄関の掲示に、身近な管轄市町の担当窓口も併記することが望まれる。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>事業所は母体となる法人が運営する老人保健施設や病院等の敷地内に設けられており、普段からセンター内各施設の方々と交わりがある。また、地区の公民館行事や幼稚園に出向いたり、法人の催す夏祭りや音楽会等諸行事に参加して地域の方々と交流している。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念「利用者主体で、地域に根ざした保健・医療・福祉サービスの提供・改善に努める」の下、「地域の人とふれあいを大切に認知症介護の拠点となるよう、①ゆったりと自由な、②穏やかで安らぎのある、③自分でやれる喜びと達成感のある、④自分らしさや誇りを保った暮らし」を事業所の理念にしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を事務所、居間に掲示している。また、法人の年度テーマ「一人じゃないよ」と事業所のキャッチフレーズ「生き生きキラキラと介護に頑張る」を掲げ、実践に向け、日々のミーティングで話し合っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所は母体となる法人が運営する老人保健施設や病院等の敷地内に設けられており、普段からセンター内各施設の方々と交わりがある。また、地区の公民館行事や幼稚園に出向いたり、法人の催す夏祭りや音楽会等諸行事に参加して地域の方々と交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は項目をリストアップし、全職員で検討したものを最終的に管理者の意見を入れまとめられている。また、昨年の外部評価の結果は検討され、夜間災害想定訓練の実施、地域との係わりや市との連携等改善されている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に開催されており、直近では12月1日に催されている。会議は市職員、地域包括支援センター職員、民生委員、老人会長、隣接施設の在宅介護支援センター相談員や居宅介護支援事業所ケアマネ等職員及び利用者家族等を外部主メンバーとし、現況報告、調理レクリエーションの披露、特定課題並びに運営上の意見交換等行なわれている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の介護保険課、地域包括支援センターとは随時相談問い合わせ等行なっている。また、管理者は介護教室の講師を務めるほか、市高齢者福祉サービス連絡協議会のグループホーム部会長の任に当たっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	3ヶ月毎のケアプラン見直しの家族等への提示面談時に、暮らしぶりや健康状態等報告し、職員紹介や各人別の写真を載せた便り「通信GH」を年に2回家族宛に送っている。また、普段の面会時や電話で近況報告や相談をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にご意見箱を設置し、相談・苦情窓口も掲示されている。苦情は法人本部窓口と管理者が受け止めることにしている。また、日々の相談事等は管理者や職員が受けとめ、カンファレンスの場で話し合われている。	○	重要事項説明書や玄関の掲示に外部の受付機関として、全国認知症高齢者グループホーム連絡協議会が記載されているが、地域密着型施設であり、身近な管轄市町の担当窓口を併記することが望まれる。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は、お互いの信頼関係を大切にした職場作りを目指している。管理者を含め全職員が利用者全員と馴染みの関係を保つよう努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者及び全職員を対象とした年間教育計画を立て事業所内月例勉強会の実施や法人内外の各種研修会及び講演会等へ適宜派遣している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は市高齢者福祉サービス連絡協議会のグループホーム部会長の任に当たり、災害時の連携や成年後見制度等の勉強会に参画している。また、職員は法人内の会議や、親睦会並びに内外の研修会等の機会を捉えて交流している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
	12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	前以って管理者(兼計画作成担当者)が自宅を訪問したり、本人と家族に事業所を見学してもらったりして(更には、体験入所を経て)信頼関係を築いている。また、利用開始時は同じ職員が対応し、安心感をもって利用できる雰囲気作りをしている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
	13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者の意思を尊重した利用者主体の介護を心掛け、食事の見守り、昔のことや古い唄などの話し相手或いはリース作り、漢字の読み、算数ドリルなど一緒にしながら、和気藹々とした雰囲気接している。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
	14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりのフェースシートや家族からの情報をもとに生活歴や経験及び暮らしの希望等を知るように努め、更に日々の支援を通してその人の思いに関心を寄せた話しかけや些細な表現からも把握に努めている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
	15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員の日々の申し送り、毎月のケアカンファレンスでの検討結果及び家族の意見をもとに日々の課題を探り出し介護計画書を作成している。	
	16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとに見直しを行ない、家族の同意を得ている。利用者の状態に応じては本人、家族、主治医及び職員等の意見をもとに随時見直し、モニタリングを経て新たな計画書を作成している。	

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	知人宅訪問、ショッピング等の外出支援や医療連携体制を整備した受診や通院等支援並びに介護教室やAED(自動体外式除細動器)講習の開催等の地域貢献を通じた支援を行なっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望する医療機関での受診を支援している。また、隣接する病院の協力医による月に2回の往診も行われている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合における対応指針を整備しており、契約時から本人、家族と重度化した場合の要望や事業所でできること、できないこと等対応を話し合っており、状態に変化があれば、協力医を交えチームとしての支援に取り組んでいる。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は態度、言葉かけ、外来者への対応等について日々話し合っている。また、個人記録等書類は保管場所を定めて取扱いには気をつけている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れは決められているが、一人ひとりの体調やその時々々の本人の気持ちを尊重し、一日の生活の中で得意なことを行なえるよう支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を取り入れた献立で季節感ある盛り付けがされている。また、一人ひとりの咀嚼や嚥下の状態を配慮した食膳である。味付け、食事、後片付け等利用者と職員と一緒にこなされており、食事中は職員と利用者の会話、声かけのある和やかな雰囲気である。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日9時～17時の間入浴できる態勢になっており、入浴を嫌う方にも週に3回は入れるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物たたみ、掃除、ゴミだし、お菓子作り、食器片付け、犬の餌やり等職員と共に行なったり、漢字読み、計算ドリル、習字、縫い物、リース作り、読書、新聞、カラオケ、散歩等一人ひとりの希望の楽しみ事を支援したりしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	広い敷地内を毎朝散歩している。また、飼い犬の世話や隣接のデイケアを訪ねての行事参加や屋外ベンチでの食事会をしている。その他月に2回の近郊へのバスツアーを実施している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び職員は拘束のない介助を目指しており、居室はもとより、日中は玄関や居間の吐き出し窓は無施錠である。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2～3回防災訓練を行なっている。直近では10月16日に火災通報訓練と夜間災害を想定した避難誘導訓練を隣接の本部老人保健施設と連携して実施している。また、水や非常食は老人保健施設で備蓄されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は適宜管理栄養士のアドバイスも得て栄養バランスに配慮している。日々の食事量や水分摂取量は記録表に記され、体重の変化にも気を配っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関先には花のプランターや鉢が並べられ、中に入ると玄関には生け花や飾り花が置かれて明るさと温かみを工夫している。畳コーナーを備えた居間兼食堂の壁は季節感のある手作り日めくり、利用者の習字や絵の作品及び行事写真等で飾られ、家庭的で寛げる雰囲気である。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は使い慣れたテーブルと椅子、置き棚、鏡台、日用品等が置かれ、壁には家族の写真や絵などを掲げ、居心地良く過ごせるよう配慮している。		